

# 同志会役員あいさつ



実行委員長  
満留 直行  
Naoyuki Mitsudome

プロフィール  
鹿児島県日置市伊集院町出身  
株式会社G・S JAPAN  
代表取締役  
好きな言葉:  
「できない我慢、するのが我慢」

新撰組同志会の皆様、こんにちは。  
新撰組同志会ニュースの第3号が発行になりました。これも盛孝光会長、緑健児顧問、他同志会会員の皆様の御協力があったの事と心から感謝しています。  
私は現在、重田光康局長の元で仕事をさせて頂いております。重田局長とは高校時代に出会い、付き合い、そして一緒に仕事をして6年になります。彼一人との出会いにより私の人生は大きく変わりました。沢山の人と出会い無形の財産を手に入れる事ができました。たった一人の人間との出会いにより人生がこんなに変わる事を実感し、感謝しています。  
不景気風、暗いニュースばかりが目立つご時世です。だからこそ、新撰組同志会が人間一人一人を利害関係無し的心里で結び、本物の人間の和という無形の財産を証明できる場になればと心から願っています。  
沢山の先輩方を差し置いて若輩者の私ではありますが、これからも実行委員長として精進していきますので、どうか皆様方よろしく願い申し上げます。



事務局長  
宮上 郁代  
Ikuyu Miyagami

プロフィール  
鹿児島県大島郡徳之島出身  
株式会社G・S JAPAN  
取締役  
好きな言葉:「ありがとう」

私はこれまでに、数多くの方々と出逢って来ました。その中で、尊敬心を抱いた方に共通していたのが、心のバランスが良く、常にプラスの精神でした。また、その方の周りには同じような方々が集まっています。昔から「類は友を呼ぶ」と言われていますが、まさにその通りだと思います。  
私は、日常生活の中で、「もう年齢的に遅すぎるかな…」とか、「私にはもう限界…」とついマイナスの精神が邪魔したりします。ですが、最近では「世間から見たら遅すぎても、自分のこれからの人生では“今が一番若いんだ!”と少しでもプラスに考えるよう心がけています。数式でもプラスにプラスをかけると更にプラスになりますが、プラスにマイナスをかけるとマイナスになってしまいますよね。精神論も同じように感じます。“マイナスな精神はマイナスな環境しか作り出さない!”と…。  
心の置き所が同じ人は、自然と集まってきますし、逆にそうでない方は、不思議と相手から離れていきます。そんなプラスの精神…前向きな方々の心の置き所が、この「新撰組同志会」だと私は思います。  
皆様の育った環境、そして今置かれている環境は千差万別だと思いますが、ご家族やお友達以外にも困った時助け合える仲間、夢を分かち合える仲間(同志)が「新撰組同志会」という名の下に存在するって素敵なことだと思いませんか?  
老若男女問わず皆様の心の声が世界中の方々へ届き、そして1日でも早く夢が形になる日を心待ちに私も日々精進していきたいと思っています。



## アテネオリンピック 柔道男子90kg級 銀メダリスト 泉 浩さんインタビュー

— 次のオリンピックを目指しますか? ・ ・ ・ 唐突にいきなりこの質問ですが何か? ・ ・ ・  
簡単には口に出せません。スポーツの世界では一年一年が勝負です。目の前の一試合一試合を大切にこなしていくこと、その積み重ねの先にロンドンがあると思います。  
— 現役はいつまでと決めていますか? 指導者になることを考えていますか?  
とにかく今は続けられるだけ続けたいという思いです。その後で考えます。

— 後輩に対してメッセージを。  
自分の人生のテーマの1つに『あきらめからは決して何も生まれぬ』という言葉があり、何度も挫折したときにこの言葉に自分は勇気ももらいました。夢を追いかける時あきらめたら終わり。あきらめずに続けることが大切だと伝えたいです。  
— あきらめないと夢はかなうと言えますか?  
挫折を味わい、それで終わり・・・ではなく、あきらめなければ必ず何かが生まれます。あきらめなくて突っ走っていくことが力にもなります。あきらめからは何も生まれませんから…。むしろ無くなっていく事の方が多いので、あきらめなくて走り続けてほしい。

— 若い人が初めての挫折にぶつかった時に言葉をかけるとしたら?  
今、負けても次、勝とう!と挫折に立ち止まるのではなく、目の前の課題を立てて消化すること。常にポジティブな発想を持ち続けることだと伝えたいです。  
— 試合に負けた時、どのように気持ちを切りかえていますか?  
やっぱり俺は、柔道が好きだ。嫌で柔道をやっているのではない。柔道が楽しくて好きだからという原点に戻ります。

— 今回、同志会ニュースの表紙にご協力いただきありがとうございます。  
盛会長、緑顧問、重田局長。いつも人生の勉強をさせてくれる先輩の皆様が、若い人達へ思いを伝え応援できることをしたいという発想から生まれた同志会ニュースですから、自分にも協力出来る事があればと、参加させていただきました。ありがとうございます。



泉 浩  
Hiroshi Izumi

プロフィール  
柔道家。青森県下北郡大間町出身。  
左組手、得意技は大外刈。  
父はマグロ漁師。  
本州最北端の町で、9人兄弟の8番目として生まれた。  
マグロ、イカ、昆布漁で生計を立てる両親と姉4人、兄3人、妹1人。  
小学校までを地元大間町で過ごしたのち、中学校より柔道私塾講道学舎に入門するため、単身上京し、世田谷区立弦巻中学校に入学。その後は世田谷学園高等学校を経て2006年に明治大学卒業。現在、旭化成柔道部所属。2004年アテネオリンピックに出場、銀メダルを獲得。  
2005年にはエジプトで開催された世界柔道選手権大会で優勝し、悲願の世界一となった。



東天紅にて、武蔵川部屋の打ち上げで武蔵丸さんと(後ろにいる横向きの方は伊藤比佐志さんです)

今、注目のこの人  
和ごころ あまみ 酒・旬菜  
鳥の味と心の伝道師 叶 実統  
新撰組同志会は 和ごころ あまみ を応援しています。  
昼 11:30~14:00  
夜 17:00~23:00(L.O. 22:00)  
定休日 日曜日・祝祭日  
J R新橋駅馬森口から徒歩5分  
〒105-0004 東京都港区新橋3-22-2 つるやTKビル4F  
☎ 03-3435-0005



鹿児島城西高校  
3年 サッカー部  
MF6 河野 圭亮

“夢について”  
私にとって夢とは叶えるためにあるものである。その夢を叶える為には小さな目標を立ててその小さな目標一つひとつを達成していくことによって夢を叶えることが出来ると思う。  
私は小さい頃からサッカーをしていたこともあり、正月はいつも家族揃って全国高校サッカー選手権大会をテレビでみていた。自分もいつかこの大会に出場して「国立」でプレーしたいという夢を持ちながらサッカーを続けてきた。高校に進学し、選手権を目指して日々練習に励んだが1、2年の時は県大会で勝つことができず悔しい思いばかりでした。  
私が高校3年になった時、今まで自分たちに足りなかったことを考え、チームのテーマとして「感謝の心」を掲げた。サッカーだけでなく普段の日常生活から気持ちを締め、「挨拶をする」「容姿をたたく」「ゴミをひろう」といった小さな目標を達成していった結果、県大会で優勝し、全国大会でも勝ち上がり、夢であった「国立」でプレーすることが出来ました。  
小さな目標の一つひとつ達成することで、サッカーでの夢を叶えることが出来た。次は「学校の先生になる」という夢が出来たので、またこの夢を叶える為に大学で頑張りたい。



上原 大助

私は2年前アメリカの新撰組焼鳥屋本店で1年半働かせていただきました。そこで人と人とのつながりの大切さ、相手を思いやる気持ちの大切さを学びました。何よりも嬉しかったのは局長のご家族や新撰組の従業員の皆様が本当の家族のように扱ってくれたことです。  
そして今は親の会社で働いております。恵まれていることに、私の親は色々な事業を展開しており、その中で色々な経験をさせてもらっています。しかしその反面、周りの人たちからは親と比較して見られてしまいます。日々、その人々を見返すくらいの気持ちでやっています。  
将来的にはアメリカで店をかまえたいと考えております。道のりは決して甘くはないのですが目標に向けて確実に進んで行きたいと思っています。



平石 有希恵

はじめまして!! 私は平石有希恵といいます。ヘアデポSコレクションで働き始めて3年目になりました。とても楽しいスタッフと共に毎日頑張っています。  
そんな私の夢は、同じ職業をもつ母と一緒にビルを建てることです。  
今は美容師として働いていますが、学生の頃は歌手になるのが諦められない夢でした。人前に出て歌うことが好きな私は、今は趣味としてずっと続けています。美容師という仕事を小さい頃から家で見ていて、喜んで帰られるお客様を見て素敵な仕事だと思っていました。  
喜ぶ笑顔、綺麗になっていくお客様の姿。そんな姿を見ながら自然と笑顔になれる、「ありがとう」という言葉をもらえる自分がいるなんて夢にも思っています。沢山持っていた夢でしたが、美容師になれた事が私の叶った夢の一つだったのかもしれない。  
いつも夢を抱えながら、日々毎日の生活を大切に過ごしていくと思います。大きなビルを建てて、家族で衣・食・住にそなえたトータル的な事業がしたいです。

本のご紹介  
在日の恋人 河出書房新社  
「あなたのその、在日に対する嫌悪感、なんやの?」とKは言った。僕はその質問に答えねばならなかった—  
一恋人との見えない壁を乗り越えるため、男は洞窟に住まうことにした。気鋭の現代美術作家による傑作エッセイ。  
高嶺 格 TADASU TAKAMINE  
1968年 鹿児島市生まれ  
鹿児島県立甲南高校 卒業(宮下純一選手オリンピック出場出身校)  
京都市立 芸術大学 卒業  
現代美術作家 演出家 京都造形芸術大学客員教授  
東京国立近代美術館、第50回ヴェネチア・ビエンナーレ、釜山ビエンナーレ 2004、世界各国で活躍中  
作品 「木村さん」、「God Bless America」、「もっとダーウィン」、「アロマロア・エロゲロエ」、「大きな休息」、「スーパーキャバシタくん」、高橋コレクション 出品



鳳凰高校  
3年 仁木 彩葉

私は、父が武道(柔道)をしていた影響もあり、小学生から剣道を始めました。始めて間もない頃は、ただ体を動かすだけで満足していましたが、試合で初めて負けて悔しい思いをしたのをきっかけに、真剣に稽古に取り組みようになりました。中学生までは、徳之島の地でひたすら剣道に打ち込んできましたが、試合に出ればるほどもっと高いレベルの環境で稽古し、日本一になりたいという意欲ができました。  
私は、母の反対を押し切って全国レベルの鳳凰高校に入学を決意しました。そこで初めて親元を離れ寮生活を体験し、レギュラーをつかむまでの厳しさや苦しみ、必死の努力というものを身をもって体験しました。  
高校生活は、ほぼ剣道一色で県大会優勝、全国ベスト8の結果を残しました。しかし、私の中で日本一になれなかった悔しさが、もう一度全国に挑戦しよう、と、大学でも剣道を続けるつもりです。  
私にとって剣道とは成長のできる場です。剣道を通して、今後どんな困難にも立ち向かっていける自信も身につけました。  
このように私が目標に向かって頑張れるのも、私の心の支えである家族、亡き父のおかげです。本当に感謝しています。応援してくれる家族や天国で見ている父のためにも目標を持って行動し、自分がやると決めたことは最後までやり通す力と、今の自分を超える明日の自分を求め向上心を忘れず努力をし、今まで育ててくれた母にいつか親孝行をしてあげることが私の目標です。



鹿児島城西高校  
3年 山口 星来

“通訳に挑戦”  
母の知人の紹介により、私は2日間の通訳を体験しました。  
私は、3月まで1年間の交換留学をしていたことから、この仕事を任せられました。英語力には少し自信がありました。帰国して6ヶ月が過ぎており、能力低下の不安がありました。でも英語力の確認や通訳という仕事を知らなかったので引き受けました。  
アメリカ・イリノイ州からロータリーメンバー4人が来日し、日置地区では美山や私の通っている鹿児島城西高校を訪問することになっていました。  
彼らは「私たちはなんでもするし、なんでも食べられるし、色々な事に挑戦させてね」と、私に伝えてきました。私は、実際に何事にも挑戦する姿に感動しました。  
時間をともに過ごしていく中で、参考になる話や彼らの文化や価値観などを聞かせてもらい、私もこの方々のように世界に行き、自国の文化を広めたいと考えようになりました。ただ伝えるだけではなく、相手側の文化も取り入れて、国際社会の発展につながっていくような事をしたい。  
この経験は、将来が不透明だった私に明確な目標をもたせました。短い期間でしたがとても勉強になり、今後につながるとても良い体験でした。



今田 佳介

私は、夢というか「こうゆう人間になりたい」という目標を持っています。それは多くの人に感謝できる人間になることです。  
私は、家族はもちろん多くの人に支えられてきたにも拘わらず、自分に勇気が足りずに感謝の気持ちで足りていないと思っています。  
就職の手助けをしてくれた家族や、人生のアドバイスをいただいた会社の上司や先輩方、本当に多くの方にご指導をいただきながら生きています。  
もちろん感謝はしていますが、まだまだ筋を通さなければならぬことがたくさんあります。これから一つずつ正面から向かっていって、感謝の気持ちを伝えていきたいと思っています。  
私がこのように強く思うようになったきっかけは、重田局長と「誠」でご一緒させていただき、重田局長を始めとする皆様のお話を聞かせていただいたからです。一人の人間としてかっかという素直に思えます。それは、重田局長の何事にも正面から立ち向かい、決して逃げないという姿勢から感じるものだと思います。  
重田局長の「感謝をする」という言葉は強烈な印象として残っています。「誠」のみならずには本当に感謝しております。この場を借りて御礼を言わせていただきます。本当にありがとうございます。

鹿児島島のコミュニティエフエム、フレンズエフエムでパーソナリティをしています。開局と同時に入社して、早12年。  
小学4年生の頃からの夢が今、現実のものに・・・。夢のようです。「私には、ラジオやテレビでおしゃべりする仕事しかない!!」  
どこからきていた自信なのか?短大卒業後、OLを3年。その後、ようやく念願だったパーソナリティの仕事に就くことができました。やや遠回りしながらも、夢が現実のものとなりました。コミュニティエフエムは、地域密着型のエフエムです。私はこれまでたくさんの方々に出会い、その方々に育てられ、今の自分がいます。人が大好き。人の熱さがたまらなく大好き。今、将来の夢が描けない子どもたちが多いような気がします。ラジオのパーソナリティがどんな仕事なのか。現役の今だからこそ、子どもたちに伝わるものがあるのではないか。今、夢を描いていた頃の私と同じ年の子どもたちに、熱く語っている私がいいます。「私、ラジオのお姉さんになるかな〜。」  
そういう子どもたちが、鹿児島で1人、また1人と増えています。私の今の夢、それは夢のバトンリレーをしていく事。只今、第1コーナーをようやく通過したところです。  
フレンズエフエム 福元 ゆみ



局長、ロスで待つ。新撰組20周年記念 ロサンゼルスツアーのご案内  
~思いはみんな1つ~  
さくらツアーでは2012年9月に予定されている新撰組グループ20周年記念祭にあわせまして、たくさんの方にご指示されるよう鹿児島よりロスまでの直行便チャーターフライトのご用意を予定しております。乗り換えなしでロスまでの直行便なら乗り継ぎ空港での移動が不要なことや、所要時間の短縮によってご出発時間もゆったりすることができます。  
人数次第ではプライベート運航となりますので、ご自身のペースでゆったりとした贅沢な旅行をお楽しみ頂けることと確信しております。局長、新撰組のことを語り合いながらの空の旅、いかがですか?  
また、さくらツアーでは皆様のふるさと便を応援しています。鹿児島へはもちろんのこと、徳之島・奄美大島への安価な航空券もどしどしご提案しております。  
◆徳之島 ¥61,800~ ◆奄美大島 ¥59,800~  
お問合せは ☎0120-26-3020 さくらリアー  
携帯からは ☎03-6858-3020・099-286-0539 <福元・吉満まで>